

「中国文学論集」論文執筆要項

九州大学中国文学会

1. 本「中国文学論集」（以下「論集」と略す）に投稿できるのは、九州大学中国文学会の会員（維持会員、普通会员、学生会員、特別会員）であり、未発表の論文とする。
2. 学会予算の都合上、全ての応募論文を論集に掲載することはできない。近三年以内に開催された中国文藝座談会において口頭発表され、その内容が学術的に十分に討議されたものを優先する。
3. 論文原稿は本文と注とを含めて 20,000 字以内、かつ組版時に 18 ページを超えないものとする。またその 18 ページを厳守する範囲で図表および図版を組み入れてよい。ただし図像の掲載等にかかる所有者の許可は執筆者が一切の責任を負い、予め許諾を得ておくこと。
4. 縦組み掲載を基本とするが、言語学および 20 世紀以降の文学等を対象とする場合、執筆者の申し出によって横組み掲載が可能である。
5. 論文投稿予定者は毎年 7 月末までに所定の投稿票（本執筆要領の下文に掲示）を事務局である九州大学文学部中国文学研究室に提出し、その論文本文の提出締切はその年の 9 月中旬の某日*とする（*…日時、投稿形態は事務局より個別に連絡する）。
6. 執筆者の校正は再校までとする。従って論文本文の誤字やネイティブチェックは論文提出締切日までに、執筆者各自の責任によって完了しておくこと。
7. 論集掲載論文は九州大学学術情報リポジトリ（QIR）に電子情報として掲載される。
8. 論文抽印本を作成する場合、その印刷費と送料はすべて執筆者が負担する。
9. その他の必要な取り決めや連絡等は中国文藝座談会において行う。

以上

2015.4.25 制定

【追記】

※編集の都合上、以下の体裁に整えたデータをご提出いただけますと幸いです。

○縦書：51 字×22 行/1 頁（初頁は題目と著者名があるため、本文 15 行*）

○横書：34 字×35 行/1 頁（初頁は題目と著者名があるため、本文 29 行*）

* 題目が 2 行以上にわたる場合は、さらに行数が減ります。

※図表（エクセル）等挿入する場合は、印刷時の紙幅の超過にご注意下さい。

※非日本語話者の方は、投稿前に必ずネイティブチェックをお願いします。